

令和5年度（令和4年度実施）学校推薦型選抜〈一般プログラム〉の概要について

令和4年度から新たに実施する学校推薦型選抜〈一般プログラム〉に係る出願資格、実施時期、大学入学共通テストにおいて課す科目・配点、出願の際に提出を求める書類等については、下記のとおりとしますので、お知らせいたします。なお、出願手続や実施日時等の詳細については令和4年6月ごろ公表予定の学生募集要項にてご確認ください。

記

1. 出願資格

- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した人及び令和5年3月31日までに卒業見込みの人
- ②学校長が、学校推薦型選抜〈一般プログラム〉のアドミッションポリシーに合致し、人物及び学業に優れているとして推薦できる人
- ③合格した場合に、必ず入学することを確約できる人
- ④令和5年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験した人

2. 出願にあたっての注意事項

- ①国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部（学科・課程・専攻・コース等）のみです。
- ②学校推薦型選抜で合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜を出願し、受験しても合格者となることはありません。
- ③本学のダビンチ入試（総合型選抜）を受験し、不合格となった人であっても、本学の学校推薦型選抜へ出願ができます。
- ④大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験していないことが判明した場合、合格者となることはありません。
- ⑤1つの高等学校から推薦できる人数に制限はありません。
- ⑥課程ごとの注意事項
  - ・応用化学課程、デザイン・建築学課程  
数学Ⅲを履修していることが望ましい。
  - ・電子システム工学課程、情報工学課程、機械工学課程  
数学Ⅲを履修していること。

（次頁に続く）

### 3. 実施時期

出願期間：大学入学共通テスト実施後の令和5年1月中旬から1月下旬

合格発表：令和5年2月8日（予定）

入学手続：令和5年2月15日まで（予定）

### 4. 選抜方法

出願書類と大学入学共通テストの成績を総合して合否判定を行います。

アドミッションポリシーについては別表1、大学入学共通テストにおいて課す科目については別表2、大学入学共通テストの配点については別表3のとおりです。

### 5. 出願書類

- ・入学願書
- ・推薦書（学校長が作成）
- ・調査書
- ・志望理由書（志願者本人が作成）

推薦書様式、志望理由書様式及び入学願書の見本については、学生募集要項掲載時に合わせて公表します。

### 6. 募集人員

課 程	募集人員
応 用 生 物 学 課 程	10
応 用 化 学 課 程	38
電子システム工学課程	10
情 報 工 学 課 程	7
機 械 工 学 課 程	15
デザイン・建築学課程	10
合 計	90

※令和3年4月8日付で公表した内容から変更はありません。工芸科学部全体の募集人員については別表4のとおりです。

以上

本件担当  
入試課学部入試係  
電話：075-724-7164  
メール：nyushi[a]kit.ac.jp  
(※[a]を@に変換してください。)

## 学校推薦型選抜&lt;一般プログラム&gt;アドミッションポリシー

課 程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応 用 生 物 学 課 程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、社会の諸問題を解決することができるグローバルな技術者・研究者を育成する。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的学習能力、柔軟な発想、論理的な思考能力</li> <li>・生物、化学、物理などの基礎学力</li> <li>・生命と自然に対する深い興味、探究心と観察力</li> </ul>
応 用 化 学 課 程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識（総合力）と高い専門性の素養を身に着けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成する。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造的、論理的思考能力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力</li> <li>・自然科学を学ぶための化学、物理、数学、英語などの基礎学力とその応用・発展能力</li> <li>・実験科学に対する深い興味と人文科学、社会科学への幅広い関心</li> <li>・課題に向かって情熱的に取り組む意欲、化学に対する旺盛な好奇心</li> <li>・物質や材料、生体関連物質に対する好奇心、学習意欲</li> </ul>
電 子 シ ス テ ム 工 学 課 程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える基幹産業で活躍する人材の育成を目指す。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学、物理や英語などの基礎学力</li> <li>・論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識</li> <li>・自然現象に対する好奇心と洞察力</li> <li>・チャレンジ精神と行動力</li> </ul>
情 報 工 学 課 程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支えるICT分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICTを活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成する。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学、物理や英語などの基礎学力</li> <li>・論理的な思考力や表現力</li> <li>・好奇心、チャレンジ精神と行動力</li> </ul>
機 械 工 学 課 程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身に着けた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを旨とする。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学、物理や英語などの基礎学力</li> <li>・ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力</li> <li>・自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力</li> <li>・論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力</li> </ul>

(次頁に続く)

課 程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
デザイン・建築学課程	<p>歴史と先端が同居する京都という地の特性を活かして、〈KYOTOデザイン〉教育、すなわち地域に根ざすと同時に国際的な競争力のある都市・建築教育を行い、建築家、建築技術者、都市プランナー、修復建築家等の高い実践力を持つ人材を育成する。また、プロダクト、ヴィジュアル、スペース等ものづくりに関わる専門的デザイン能力をベースにしているが、一方でこうしたものづくりに留まらず、産業構造の変化等を見据え、時代に応じて変化する社会的な課題に対し、「デザイン思考」の展開によって新たなサービスの創造や社会実装化に期待が向けられてきており、そのために異分野の専門家とも積極的に協働して、デザインの知識を活かしたイノベーション（Design Driven Innovation）を実現できる人材を育成する。</p>	<p>出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力</li> <li>・美や造形に対する関心と感受性</li> <li>・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力</li> <li>・コミュニケーション能力と協調性</li> <li>・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意</li> </ul>

## 令和 5 年度学校推薦型選抜&lt;一般プログラム&gt;実施教科・科目等

学域、課程名		大学入学共通テストの利用教科・科目	
応用生物学域	応用生物学課程	国 地 理 外 歴 史 ・ 公 民 学 科 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理, 化学, 生物, 地学から 2 科目選択 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択  (5教科7科目)
物質・材料科学域	応用化学課程	国 地 理 外 歴 史 ・ 公 民 学 科 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理, 化学 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択  (5教科7科目)
設計工学域	電子システム工学課程	国 地 理 外 歴 史 ・ 公 民 学 科 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理と「化学, 生物, 地学から 1 科目選択」の計 2 科目 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択  (5教科7科目)
	情報工学課程	国 地 理 外 歴 史 ・ 公 民 学 科 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理と「化学, 生物, 地学から 1 科目選択」の計 2 科目 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択  (5教科7科目)
	機械工学課程	国 地 理 外 歴 史 ・ 公 民 学 科 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理と「化学, 生物, 地学から 1 科目選択」の計 2 科目 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択  (5教科7科目)
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	国 地 理 外 歴 史 ・ 公 民 学 科 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理, 化学, 生物, 地学から 2 科目選択 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択  (5教科7科目)

## 注意事項

○英語民間試験について

出願資格及び合否判定に英語民間試験を活用しません。

(次頁に続く)

## ○大学入学共通テストについて

## 1. 段階表示について

出願資格及び合否判定に段階表示を活用しません。

## 2. 外国語について

英語を選択した場合には、全ての課程でリーディングテストとリスニングテストを課します。リーディングの得点を160点満点、リスニングの得点を40点満点にそれぞれ換算の上合計し、各課程の配点に換算します。なお、リスニングテストを受験しなかった場合でも失格にはなりません。その場合、リスニングテストの点数を0点とします。また、リスニング免除者については、リーディングの得点を200点満点に換算の上、各課程の配点に換算します。

## 3. 地理歴史・公民について

大学入学共通テストの「地理歴史・公民」から1科目選択の場合において、各課程が必要とする教科・科目を超えて受験した場合は、各課程が指定した教科・科目のうち第1解答科目の得点を採用します。

令和5年度学校推薦型選抜&lt;一般プログラム&gt;教科・科目等別配点

課程名	配点					
	大学入学共通テスト					
	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	計
応用生物学課程	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	900
応用化学課程	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	900
電子システム工学課程	100	50	2科目 各100	物理200 その他1科目100	200	850
情報工学課程	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	900
機械工学課程	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	900
デザイン・建築学課程	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	900

※合否判定は、出願書類と大学入学共通テストの成績を総合して行います。

## 工学科学部 1 年次入試区分別の募集人員

課程	合計	一般プログラム							地域創生 Tech Program					
		小計	一般選抜		ダビンチ入試 (総合型選抜)		学校 推薦型 選抜	特別 入試 私費 外国人 留学生	小計	一般 選抜 前期 日程	ダビンチ入試 (総合型選抜)			学校 推薦型 選抜
			前期 日程	後期 日程	一般	グロー バル					一般	地域	社会人	
										一般				
応用生物学課程	50	48	22	10	5	1	10	若干名	2	若干名	1		若干名	1
応用化学課程	169	166	95	24	6	3	38	若干名	3	若干名	2		若干名	1
電子システム工学課程	61	58	34	10	3	1	10	若干名	3	若干名	2		若干名	1
情報工学課程	61	58	30	15	5	1	7	若干名	3	若干名	2		若干名	1
機械工学課程	86	83	48	15	4	1	15	若干名	3	若干名	2		若干名	1
デザイン・建築学課程	156	148	105	-	30	3	10	若干名	8	若干名	4	2	若干名	2
合計	583	561	334	74	53	10	90	-	22	-	合わせて15		-	7

注 1. 一般選抜前期日程では、一般プログラムと地域創生 Tech Program との併願ができます。

注 2. 募集人員の取り扱いは次のとおりとします。

- ①一般プログラムのダビンチ入試（総合型選抜）の入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。
- ②私費外国人留学生の募集人員（若干名）は、一般選抜後期日程の募集人員に含まれます（デザイン・建築学課程を除く）。
- ③地域創生 Tech Program のダビンチ入試（総合型選抜）では、デザイン・建築学課程を除き、一般と地域合わせて募集します。また、社会人の募集人員（若干名）は、地域創生 Tech Program の各課程の募集人員に含まれます。
- ④地域創生 Tech Program のダビンチ入試（総合型選抜）のデザイン・建築学課程で募集する一般（又は地域）の合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を地域（又は一般）に加えます。
- ⑤地域創生 Tech Program のダビンチ入試（総合型選抜）と学校推薦型選抜の入学手続者数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生 Tech Program の一般選抜前期日程の募集人員（若干名）に含めます。
- ⑥地域創生 Tech Program の入学手続者数（一般選抜（前期日程）においては合格者数）が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。

注 3. ダビンチ入試（総合型選抜）で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び一般選抜に出願ができます。

注 4. 学校推薦型選抜の合格発表前に、本学を含む国立大学の一般選抜に出願できますが、学校推薦型選抜に合格した場合には、一般選抜を受験しても合格対象者になりません。